



四角語句を、線の上に練習するでござんすよ。

英文には、必ず動詞が1つある。つまり、**be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。**

☆7 WhoとWhatの疑問文(応用編)

現在の文で、**主語が三人称単数 (I、you 以外の1人)** のとき、**be 動詞は is** とし、**一般動詞には s または es** をつける。
(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

「いつ、どこで、誰が、何を」などを疑問詞といい、Yes, No で答えることができない質問文となる。

答え方は、**質問文中の主語+動詞** (be 動詞 or 一般動詞) で**答え始める**。

名詞は、代名詞にします。
日本語と同じように、名詞は原則、2回目からは、代名詞になります。
(whose は、例外として覚えます)
質問…Whose book is this?
返事…It is my book.
this はルール通り **it** にします。
ただし、**whose** の次の名詞は、そのままにします(**book** は **book**)。

(例) What is this? [これは何ですか。] **this** は、**it** に。
It is an apple. [それはりんごです。] **is** は、**is** のままで。

問題30 質問文の主語と動詞に注目して、「答えの文」を完成させなさい。

(1) What do you like? (犬です、と答える。) (2) Who are you? (太郎です、と答える。)
_____ a dog. _____ Taro.
主語+動詞で答え始めます。 主語+動詞で答え始めます。
you は、**I** になります。

(3) What is this? (本です、と答える。) (4) What is that? (卵です、と答える。)
_____ a book. _____ an egg.
主語+動詞で答え始めます。 主語+動詞で答え始めます。
this は、**it** になります。
that は、**it** になります。

(4)を見てほしい。egg エッグ：卵のように、
発音の最初が「アイウエオ」 のときは、**an** になる。(例) an orange (オレンジ)
_____ **that boy** は、「彼」になります。
_____ **this girl** は、「彼女」になります。

(5) Who is that boy? (太郎です、と答える。) (6) Who is this girl? (私の姉です、と答える。)
_____ Taro. _____ my sister.
主語+動詞で答え始めます。 主語+動詞で答え始めます。

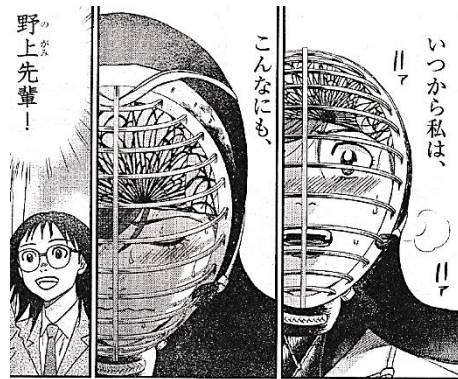
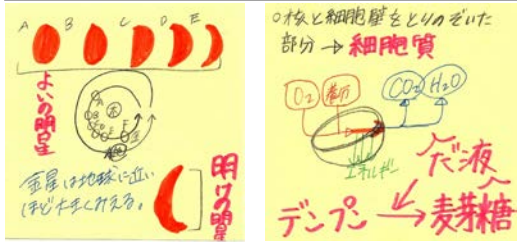
(7) Who do you meet? (亜紀です、と答える。) (8) What do you eat? (りんごです、と答える。)
_____ Aki. _____ apples.
主語+動詞で答え始めます。 主語+動詞で答え始めます。
you は、**I** になります。

ストーリーがない単純暗記が辛い。そんなときは、目にする回数を増やしましょう。

理科の植物で、子房、胚珠、種子、単子葉類、双子葉類などを学びます。火山では、花こう岩、閃緑岩、斑レイ岩などを学びます。

このような理科の勉強を、一言で言うと、「**区別**」です。理科とは、身の回りの物事そのものですので、一つひとつに名前がついています。そしてそれを覚えるのが、小学生中学生の理科です。

理科は単なる暗記? 歴史のようなストーリーがないから覚えられない? そんなときは、まず…「お友達から」というのはどうですか? 会うたびに、きっと好きになるはず。そのためにも以下のように**ふせん**にまとめ、ちよくちよく見てください。



出典「あさひなく」
こざき亜衣氏 小学館 より

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

☆7 WhoとWhatの疑問文(応用編)

四角語句を、線の上に練習してください。



テスト返却後は、テスト勉強で頑張ったところに注目してください。

定期テスト、いつもお疲れ様です。ところで、「テスト勉強をしたところ」、どうでしたか。

「テスト勉強を頑張ったところ」がピンポイントで出題されて、そこができていたら(正解していたら)、あなたの「勉強のやり方」は正しい、と言えます。

あとはそのやり方を、テスト範囲全体に広げて勉強すれば、点数はまだまだ伸びます。

「鎌倉時代、5問中4問できた」ならば、「あの勉強のやり方、よかったんだ!」「あれがぼくの(私の)勉強法なんだな」と思ってほしいです。

そしてその方法を、他の科目にも広げて行ってください。そしてその勉強法を、あなたの型として、大切にあげてください。

以上のようにテスト後は、全体の点数よりも、「テスト勉強で頑張ったところ」が、どれだけ丸になったかを見ましょう。あとはその勉強法を広げることで、勉強時間に比例して、あなたの学力は、もっと伸びるはずですよ。



出典「あさひなぐ」
こざき亜衣氏 小学館 より

英文は、「主語+動詞～」でできている。

(例) **The book on the desk is mine.** (机の上にある本は、私のものです。)
これ全部が主語 動詞 ※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

問題3 | 質問文中の「主語+動詞」で答え始め、文を完成させなさい。

(1) What is this? (オレンジです、と答える。)

_____ orange.

(2) What do you like? (オレンジです、と答える。)

_____ orange.

(3) Who do you meet? (太郎です、と。)

_____ Taro.

(4) Who is there? (太郎です、と。)

_____ there.

● Whatを使った応用: **What+名詞**で、「どんな～、何の～」と表現できる。

What sport スポーツ: **どんなスポーツ**

What fruit フルーツ: **どんな果物**

What kind of 単数名詞 ワッ カインド オブ: **どんな種類の～**

(5) あなたは、**どんなスポーツ**が好きですか。

_____ you like?

(6) あなたは、**どんな果物**が好きですか。

_____ you like?

(7) あなたは、**どんな種類の本**を読みますか。

_____ do you read?

Who makes dinner? (誰が夕食を作りますか。) 疑問詞の主語は、三人称単数となる。

Who, Whatが主語のとき。 (4)対策

誰が台所にいますか。 → Tom is.
何が机の上にありますか。 → A book is.

「誰」「何」が主語のとき、上の例のように、「名詞 is.」と答えます。

上を見て!

there ぜア: そこに

kind カインド: 種類

この kind が入ると、より、広く表現される。(←ほお…)

(例1) **This flower is pretty.**
(このお花は、可愛いです。)

(例2) **This kind of flower is pretty.**
(この種のお花は、可愛いです。)

例1は、「目の前の花だけ」を表す。

例2は、「同じような種類ならば、他の花も」、含めている。

このように、グループ全体を表したいときに、kindを使うことが多いです。

名詞は、単数形です。

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

☆7 WhoとWhatの疑問文(応用編)

四角語句を、線の上に練習するでござすよ。



3

定期テスト後、○と×を、細かく分析しよう。

「社会、65点だった。前回50点だったから、15点分は成長なんだけど、まだ行ける！次はもっと頑張るぞ」。こう思ったあなた、素晴らしいです。

でも、もっと頑張る必要はありません。あなたはいつだって、頑張っているのですから。ですので、こう考えてください。

テスト後の歴史を「鎌倉」「室町」「時事問題」のように分けます。その上で、それぞれどれだけ取れたのかを見る、という作戦です。

「鎌倉は6問中5問正解だったのに、室町は6問中3問の正解だった。」だから室町は苦手かも…ではなく、もっと細かく見ます。「ん？室町で間違えた3問って、金閣や雪舟など、全部、文化じゃん。ていうことは、逆に、文化以外は全部できたってことか。」と。

こう分析することで、「もしかしたら、今後も文化で苦戦するかも。早めに準備しておこう」と、今回の経験から、次に打てる手を考えることができます。このように、テスト後の反省を細かくすることで、次につながります。



出典「あさひなぐ」
こざき亜衣氏 小学館 より

英単語の覚え方：ローマ字読みで覚える。

bookは「ボオク」、Chinaは「チナ」、writeは「ワリテ」のように。これを2回、紙に書く。そして3回目は、何も見ないで書いてみよう(自分テスト)。

1つの英文には、必ず動詞が1つある。

つまり、be動詞と一般動詞は、一緒に使えない。

～に、何がありますか。
→ What is～?

～に、誰がいますか。
→ Who is～?

問題3 2 英文を完成させなさい。

(1) あれは、何ですか。

_____ that ?

こちらは、基本、質問文中の「主語+動詞」で答え始めます。ただし、主語は代名詞にします。

りんごです。

_____ an apple.

(2) あなたは何を、食べますか。

_____ you eat ?

りんごです。

_____ an apple.

(3) あなたは誰を、好きですか。

_____ you like ?

太郎です。

_____ Taro.

(4) あの少年は、誰ですか。

_____ that boy ?

太郎です。

_____ Taro.

(5) 机の上に、何がありますか。

_____ on the desk ?

りんごです。

_____ .

(6) あなたの母は、公園にいますか。

はい、います。

_____ mother in the park ? Yes, _____ is.

疑問詞(Who: 誰, What: 何)、がないので、普通の質問文です。

Be動詞+主語～?

(主語は、～にいますか。)

(7) あなたは、どんな種類の車が好きですか。

_____ car do you like ?

あなたの母: your mother
公園に: in the park
います: am か is か are

(8) 誰が、私の部屋にいますか。

太郎です。

_____ in my room ? _____ .

答え方が、ポイントです。

「誰が」と疑問詞が主語ですので、答え方は「名詞 is.」となります。

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

この「答え方」が、中学英語の中で、とても大切なポイントの一つです。

ago. Umami
and is known

- already [ɑ:l'reɪdɪ]
- become [bɪk'ɒm]
< become
- be known to ~
~に知られている

be interested in
~に興味がある

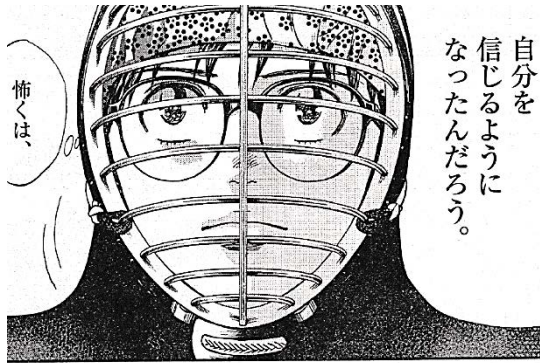


scientist 科学者
ディスカバー
discover 発見者

more than
~以上

hundred 百
アゴウ
ago ~前

京都の科学の弁当



怖くは、

自分を
信じるように
なったんだろう。



ない。

出典「あさひなぐ」
こざき亜衣氏 小学館 より

☆7 WhoとWhatの疑問文(三単現学んでから)

四角語句を、線の上に練習するですよ。



英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです(予習で)。そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すでにあることで、復習や単語の暗記がすぐできます。左が例です。

私(塾長)も、32ページの単語テスト、5分後にするよ。と言いやすいです。

★一般動詞編(三単現のsを学んでから)。

「ファミコン大会するの? 誰が来るの?」「すごい! 誰がスターソルジャーを買ったのよ?」

このように疑問詞(Who, What, Which)は、主語(~が)になれる。 ※whichは、「比較」で活躍します。

疑問詞が主語の質問文と、その答えの文。

一般動詞編

(例1 現在) Who runs fast? (誰が速く走りますか。) 答え方... Taro does.

(例2 過去) Who made dinner? (誰が夕食を作りましたか。) 答え方... Taro did.

上の例のように、疑問詞は主語(~が)になると、三人称単数扱いとなる。 ←ほお...

Whoが主語(~が)になると、現在では → Who + 一般動詞s ~?: 誰が~しますか。

答える時は 主語 do. または 主語 does. (過去の文では 主語 did.) と答える。

三人称単数とは。
1ページ目の、一番上を見てください。

問題33 文を完成させなさい。疑問詞 Who が主語なら、 を入れよ。

(1) 誰がお弁当を作りますか。太郎です。 主語

_____ lunch? Taro _____.

(2) あなたは誰に会いますか。 主語

_____ meet?

「会う」は、see
または meet です。

作るは make メイクで、
作ったは made メイドです。

(3) 誰が私のケーキを食べましたか。太郎です。 主語

_____ cake? Taro _____.

食べるは eat イートで、
食べたは ate エイトです。

以下：過去形を学んだ人用です。make AB : A を B な状態にする、という表現です。

What made A B? : なぜAは、Bな状態なのですか。

左の公式と、(例3)について。
なぜ過去形の made なのか?
そしてなぜ、What なのか...?

(例3) What made you tired? (なぜあなたは疲れているのですか。)

(4) なぜあなたは忙しいのですか。 主語

_____ busy?

What made A B ~? とは、
「何がAを、Bな状態にしたのですか?」
が、ももとの意味です。これが転じて、
「なぜAは、Bな状態になったのですか?」
という日本語になった、というわけです。

不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのは、蹴る勇気があったから。



学習習慣をつけると、偏差値50になります。

勉強が習慣になると、偏差値が50になります。理由は、入試の50%が基本問題だからです。基本とは、「歴史の太字」や「公式を、そのまま活用できる計算（数学、理科、地理の縮尺）」など、学校ワークのA問題に相当する内容です。

勉強が習慣になると、良いことがあります。

- ① 毎日、宿題が終わります。
 - ② テスト明けのワーク提出が間に合います。
 - ③ 結果、精神的にも気分が良くなります。
 - ④ 気分が良いので、他の勉強にも、積極的になれます。
 - ⑤ そのため、「総合的な学力」が向上します。
 - ⑥ 学力がつくので、成績が上がります。
 - ⑦ 結果、「行きたいな」と思っている高校に進学できる可能性が、日に日に高まります。
- 以上が、学習習慣をつけるメリットです。



出典「あさひなぐ」
こざき亜衣氏 小学館 より

07 Who と What (応用編) [解答]

[解答] Who と What (応用編) 07

問題30 (1)I like (2)I am (3)It is (4)It is (5)He is (6)She is (7)I meet (8)I eat

問題31 (1)It is an (2)I like an (3)I meet (4)Taro is
(5)What sport do (6)What fruit do (7)What kind of book

問題32 (1)What is / It is (2)What do / I eat (3)Who do / I like (4)Who is / He is
(5)What is / An apple is (6)Is your / she (7)What kind of (8)Who is / Taro is

問題33 (1)Who makes / does (2)Who do you 主語ではない。
(3)Who ate my / did (4)What made you

信じて進めば、いつだって、未来は味方だ。